



( ) 内に「が」「を」「で」を入れて正しい文にしてみましょう。

・ 1 : 練習 ( ) する。

\_\_\_\_\_

・ 2 : 孫 ( ) 来る。

\_\_\_\_\_

・ 3 : 風 ( ) 吹く。

\_\_\_\_\_

・ 4 : 鉛筆 ( ) 書く。

\_\_\_\_\_

・ 5 : 窓 ( ) 開ける。

\_\_\_\_\_

/5

折り線

**が**  
(主語)

**を**  
(目的・対象)

**で**  
(場所・方法・材料)

【文】 文法：格助詞の選択 その5

答え 1 : を 2 : が 3 : が 4 : で 5 : を

折り線  
実施例

①プリントに掲載されている格助詞「が（主語）・を（動作の目的・対象）・で（動作の行われる場所・方法・材料）」の中から正しい格助詞を選択し、2文節文を完成させます。その後、下線のところに完成させた文章を模写します。  
②課題の実施が難しい場合は、  
・「3パターンの助詞の機能（例：「が：主語」「を：目的」「で：場所・方法）」を書いたところから選択してもらう  
・「3パターンの助詞を一度に提示せずに、手で隠すなどして1つずつ提示し、選んでもらう」  
・「支援者が、3パターンの助詞を入れた文章を読んで正しいものを選択してもらう」  
などの手助けをして実施します。